

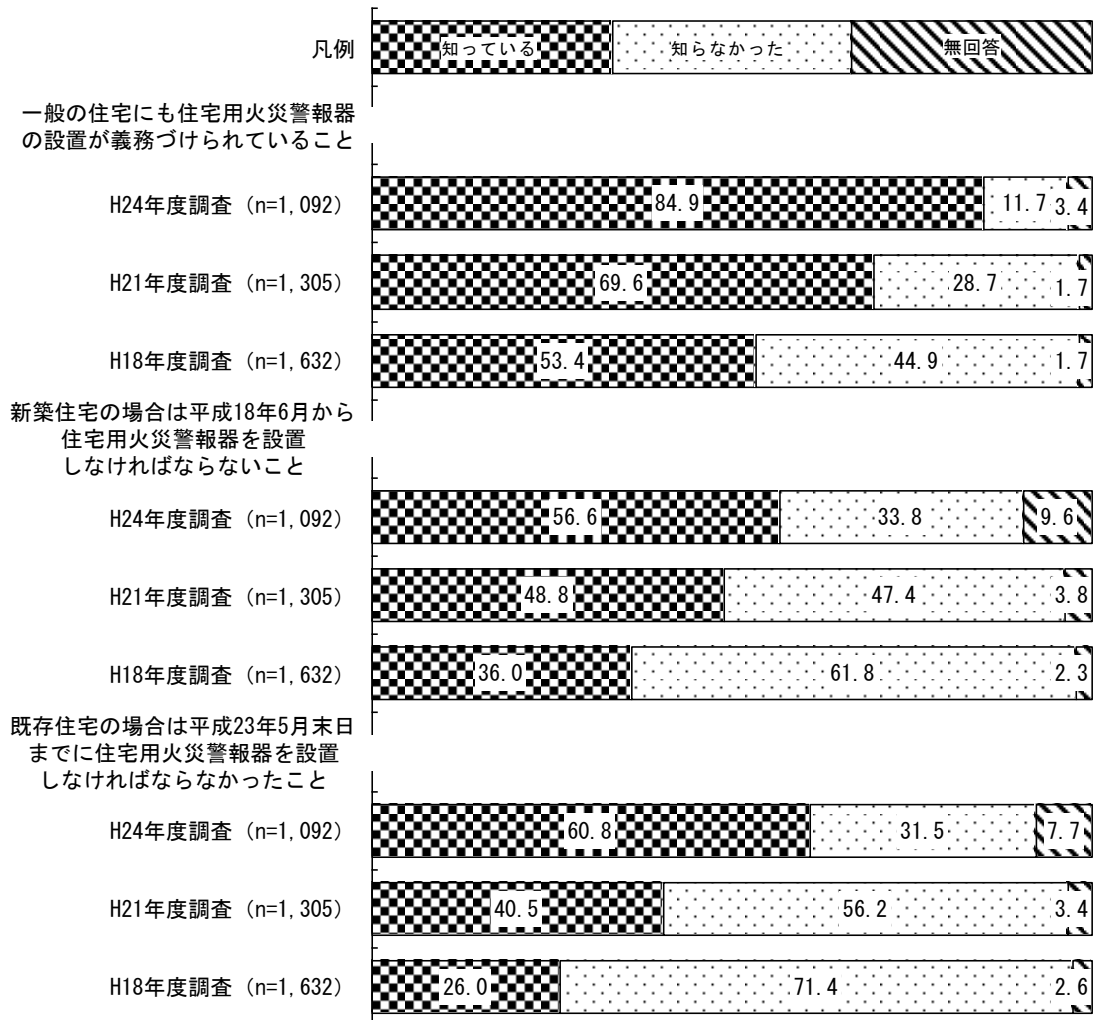
第Ⅶ章 住宅用火災警報器について

1. 住宅用火災警報器の設置義務について知っていたか（問 47）

住宅用火災警報器の設置義務についてみると、「一般の住宅にも住宅用火災警報器の設置が義務づけられていること」については、84.9%が「知っている」と回答しており、平成 21 年度調査から 15.3 ポイント、増加している。

同様に、「新築住宅の場合は平成 18 年 6 月から住宅用火災警報器を設置しなければならないこと」については、「知っている」は平成 21 年度調査の 48.8%から 56.6%へ、「既存住宅の場合は平成 23 年 5 月末日までに住宅用火災警報器を設置しなければならなかったこと」も平成 21 年度調査の 40.5%から 60.8%へと増加している。

図表 7-1 住宅用火災警報器の設置義務の認知状況（単純回答）（%）



図表 7-2 住宅用火災警報器の設置義務の認知状況（単純回答）

(%)

		件数	が用一般の住宅にも住宅 るが義務づけられてい こと	置宅成新築住宅の場合平 いしな火災警報器を設 こと	な器で成既に らを設住宅年 な設置しな火災警報 かつたな火災警報 こと
全 体		1,092	84.9	56.6	60.8
性別	女性	566	85.7	56.0	59.7
	男性	446	86.1	59.0	64.8
年齢別	30歳未満	91	81.3	58.2	60.4
	30歳代	166	90.4	59.6	56.0
	40歳代	201	86.1	58.7	61.2
	50歳代	157	84.1	59.2	58.6
	60歳代	214	86.4	58.9	65.9
	70歳以上	172	84.9	49.4	67.4
居住 地域別	J R以南	106	78.3	52.8	57.5
	片山・岸部	155	81.9	54.2	61.9
	豊津・江坂・南吹田	175	85.1	57.7	55.4
	千里山・佐井寺	186	83.3	55.9	60.8
	山田・千里丘	253	87.4	58.5	62.8
	千里NT・万博・阪大	203	90.6	59.1	65.5
世帯年収別	250万円未満	168	86.3	45.8	59.5
	250～500万円未満	293	88.1	60.4	67.9
	500～750万円未満	176	86.4	61.9	61.9
	750～1,000万円未満	116	83.6	54.3	56.0
	1,000～1,500万円未満	81	86.4	63.0	60.5
	1,500万円以上	20	70.0	45.0	40.0
	わからない	100	89.0	59.0	60.0
居住形態別	持ち家（一戸建て）	307	86.6	62.2	67.4
	持ち家（マンション）	363	88.2	56.7	58.1
	民間賃貸（一戸建て）	18	88.9	72.2	72.2
	民間賃貸（マンション）	167	78.4	47.3	53.9
	公団・公社（賃貸）	57	86.0	54.4	75.4
	府営・市営（賃貸）	55	92.7	56.4	60.0
	社宅・寮	29	82.8	62.1	65.5
	その他	8	75.0	50.0	62.5
ヒヤリ経験別	ある	196	89.3	56.6	59.7
	ない	845	85.0	57.5	62.0

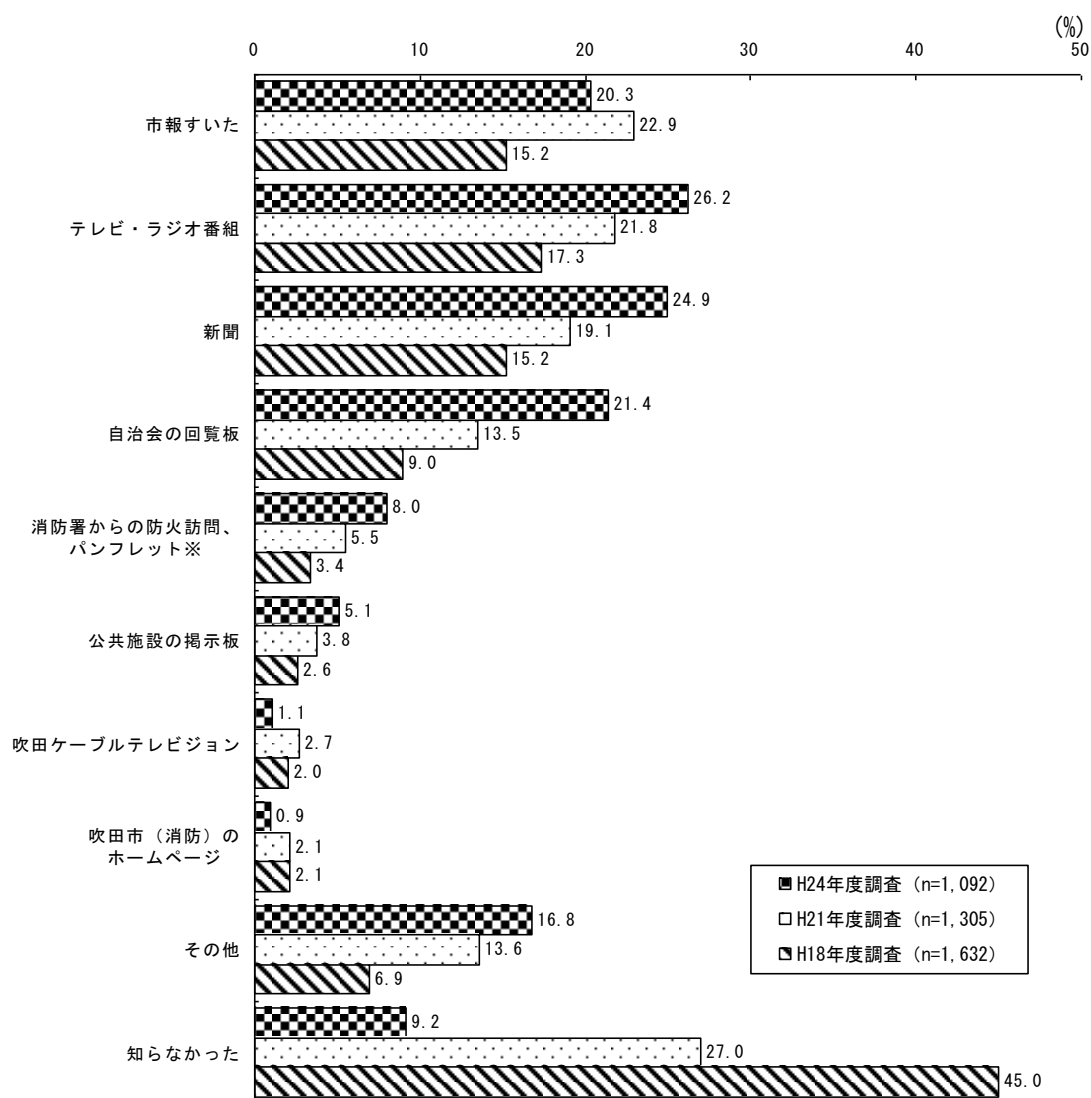
2. 住宅用火災警報器設置義務の情報源について（問 48）

住宅用火災警報器の設置義務の情報源についてみると、「テレビ・ラジオ番組」が最も多く 26.2%である。次いで、「新聞」（24.9%）、「自治会の回覧板」（21.4%）、「市報すいた」（20.3%）の順であり、これらが 20%を超えている。「テレビ・ラジオ番組」、「新聞」、「自治会の回覧板」、「消防署からの防火訪問、パンフレット」、「公共施設の掲示板」は、平成 18 年度、平成 21 年度と比較して増加傾向にある。

「知らなかった」は平成 18 年度 45.0%、平成 21 年度 27.0%、今回 9.2%であり、減少傾向となっている。

なお、「その他」は「量販店の店頭チラシ」「マンションの管理組合」やガス事業者名などが挙げられている。

図表 7-3 住宅用火災警報器設置義務の情報源（複数回答／いくつでも）



※平成18年度調査は「吹田市発行の各種冊子、チラシ」

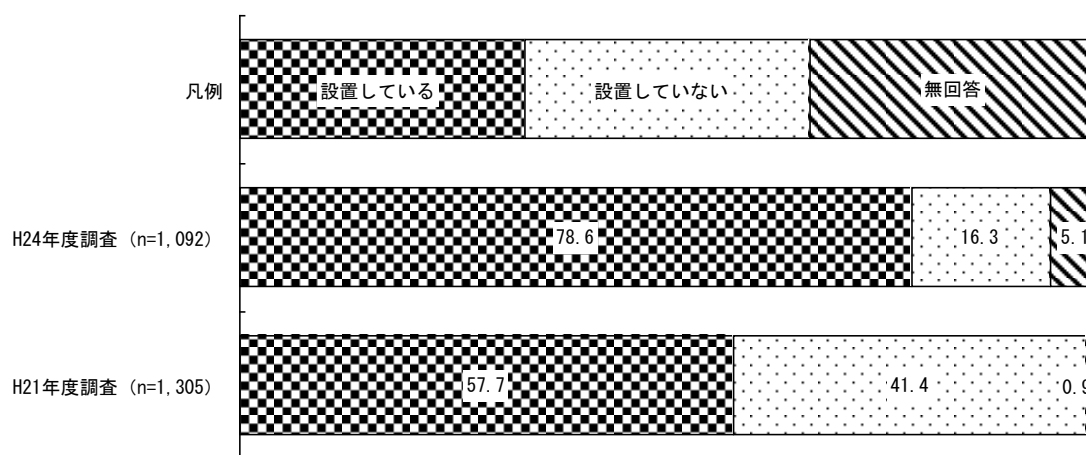
図表7-4 住宅用火災警報器設置義務の情報源（複数回答/いくつでも） (%)

		件数	市報 すいた	テレビ 番組 ・ラジ	新聞	自治会 の回覧 板	消防署 からの 防火訪 問、パ ンフレ ット	公共施 設の掲 示板	吹田ケ ーブル テレビ ジョン	吹田市 (消 防)の ホーム ページ	その他	知ら なかつ た
全 体		1,092	20.3	26.2	24.9	21.4	8.0	5.1	1.1	0.9	16.8	9.2
性別	女性	566	21.9	25.6	20.5	22.6	8.8	5.1	0.7	0.5	18.0	8.7
	男性	446	18.6	26.9	31.6	20.0	8.1	4.7	1.6	1.3	16.6	9.9
年齢別	30歳未満	91	6.6	34.1	9.9	8.8	2.2	2.2	1.1	0.0	25.3	19.8
	30歳代	166	10.2	37.3	22.9	9.0	6.6	4.2	1.2	0.0	25.3	7.8
	40歳代	201	11.4	26.4	23.9	16.4	7.0	5.0	0.5	0.0	22.4	11.9
	50歳代	157	18.5	23.6	28.0	15.9	12.7	6.4	0.6	1.3	15.9	11.5
	60歳代	214	32.2	24.3	30.8	31.3	7.5	6.1	1.4	1.9	12.1	7.0
	70歳以上	172	37.2	15.7	28.5	38.4	14.0	4.7	1.7	1.7	6.4	2.3
居住 地域別	J R以南	106	21.7	23.6	24.5	18.9	11.3	4.7	0.9	1.9	14.2	8.5
	片山・岸部	155	18.7	27.7	22.6	16.1	11.6	4.5	0.6	0.0	17.4	9.7
	豊津・江坂・南吹田	175	18.9	28.6	25.1	12.6	6.3	4.0	0.6	0.6	22.3	10.9
	千里山・佐井寺	186	19.9	30.6	24.2	16.1	6.5	4.3	1.1	1.1	16.7	12.4
	山田・千里丘	253	19.4	22.9	22.9	28.5	5.9	5.5	1.6	0.8	17.0	7.9
	千里N T・万博・阪大	203	24.1	24.6	30.0	30.5	9.4	7.4	1.5	1.5	12.8	5.4
世帯 年収別	250万円未満	168	28.0	20.2	25.0	29.2	7.1	6.5	1.2	0.6	14.9	6.5
	250～500万円未満	293	26.3	30.0	29.7	22.9	9.9	3.8	1.0	1.4	14.3	5.5
	500～750万円未満	176	15.3	23.3	22.2	23.3	10.8	5.7	1.7	1.7	19.3	10.2
	750～1,000万円未満	116	9.5	27.6	29.3	13.8	6.9	8.6	1.7	0.0	20.7	14.7
	1,000～1,500万円未満	81	13.6	23.5	21.0	11.1	11.1	1.2	0.0	0.0	29.6	11.1
	1,500万円以上	20	15.0	20.0	10.0	15.0	5.0	0.0	0.0	0.0	20.0	30.0
	わからない	100	14.0	33.0	24.0	20.0	6.0	5.0	1.0	1.0	16.0	12.0
居住 形態別	持ち家（一戸建て）	307	23.8	24.8	28.0	22.1	13.4	3.3	1.0	1.6	21.8	9.4
	持ち家（マンション）	363	18.5	26.4	26.4	25.3	7.7	5.8	1.1	0.3	14.9	6.9
	民間賃貸（一戸建て）	18	16.7	38.9	33.3	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	5.6
	民間賃貸（マンション）	167	16.2	28.1	18.6	2.4	3.6	3.6	1.2	0.6	21.0	14.4
	公団・公社（賃貸）	57	21.1	22.8	29.8	33.3	8.8	14.0	0.0	1.8	8.8	7.0
	府営・市営（賃貸）	55	36.4	18.2	23.6	41.8	1.8	5.5	1.8	0.0	9.1	5.5
	社宅・寮	29	6.9	34.5	13.8	10.3	0.0	6.9	0.0	0.0	20.7	17.2
	その他	8	37.5	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5
ヒヤリ 経験別	ある	196	18.4	33.2	25.0	21.4	6.1	6.1	1.0	2.0	21.9	8.7
	ない	845	21.1	24.9	25.4	21.7	8.5	5.0	1.2	0.7	16.1	9.5

3. 住宅用火災警報器の設置状況（問 49）

住宅用火災警報器の設置の有無についてみると、「設置している」が 78.6%であり、8割近くを占めている。平成 21 年度調査の 57.7%から 20.9 ポイント増加している。

図表 7 - 5 住宅用火災警報器の設置状況（単純回答）（%）



図表7-6 住宅用火災警報器の設置状況（単純回答） (%)

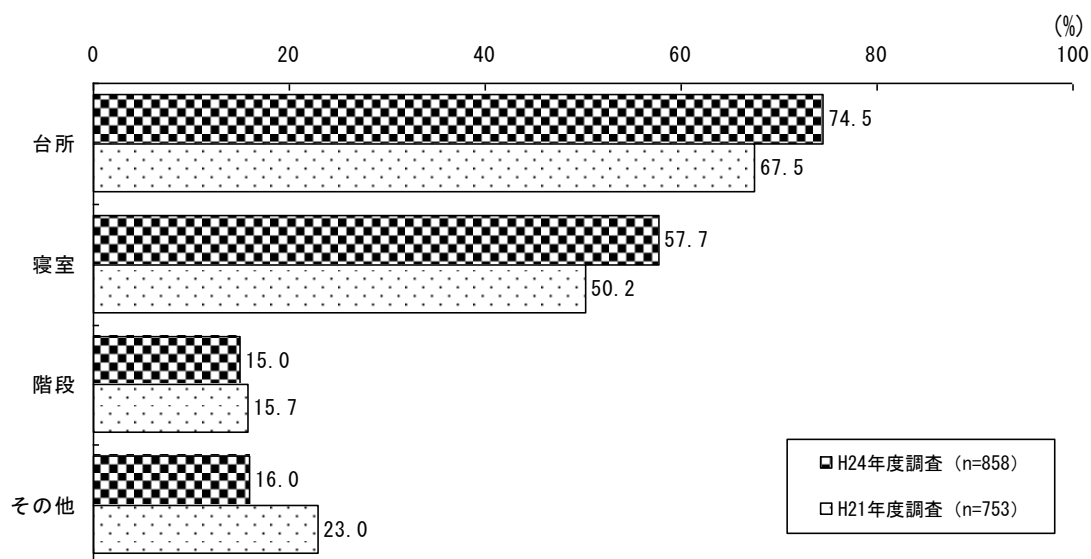
		件数	設置している	設置していない	無回答
全 体		1,092	78.6	16.3	5.1
性別	女性	566	79.2	15.7	5.1
	男性	446	79.1	17.3	3.6
年齢別	30歳未満	91	79.1	14.3	6.6
	30歳代	166	80.1	15.7	4.2
	40歳代	201	80.6	13.9	5.5
	50歳代	157	78.3	19.7	1.9
	60歳代	214	79.4	15.9	4.7
	70歳以上	172	77.3	19.2	3.5
居住地域別	J R以南	106	62.3	27.4	10.4
	片山・岸部	155	76.8	18.1	5.2
	豊津・江坂・南吹田	175	75.4	18.9	5.7
	千里山・佐井寺	186	77.4	17.2	5.4
	山田・千里丘	253	82.2	13.8	4.0
	千里N T・万博・阪大	203	90.1	6.9	3.0
世帯年収別	250万円未満	168	78.6	16.7	4.8
	250～500万円未満	293	79.5	17.1	3.4
	500～750万円未満	176	85.8	11.9	2.3
	750～1,000万円未満	116	80.2	16.4	3.4
	1,000～1,500万円未満	81	79.0	18.5	2.5
	1,500万円以上	20	70.0	30.0	0.0
	わからない	100	74.0	19.0	7.0
居住形態別	持ち家（一戸建て）	307	67.8	29.0	3.3
	持ち家（マンション）	363	87.6	9.4	3.0
	民間賃貸（一戸建て）	18	66.7	33.3	0.0
	民間賃貸（マンション）	167	74.9	16.2	9.0
	公団・公社（賃貸）	57	89.5	5.3	5.3
	府営・市営（賃貸）	55	94.5	3.6	1.8
	社宅・寮	29	82.8	6.9	10.3
	その他	8	75.0	25.0	0.0
ヒヤリ経験別	ある	196	83.7	13.8	2.6
	ない	845	78.8	17.5	3.7

4. 住宅用火災警報器の設置場所（問 50）（該当者のみ）

住宅用火災警報器を設置している回答者を対象に、設置場所についてみると、「台所」が 74.5%と 4 分の 3 近くを占めている。次いで、「寝室」が 57.7%であり、「台所」「寝室」とも平成 21 年度調査より増加している。

なお、「その他」は「廊下」「リビング」「浴室」「居間」などが挙げられている。

図表 7-7 住宅用火災警報器の設置場所（複数回答／いくつでも）



図表 7-8 住宅用火災警報器の設置場所（複数回答／いくつでも） (%)

		件数	台所	寝室	階段	その他	無回答
全 体		858	74.5	57.7	15.0	16.0	2.8
性別	女性	448	75.4	60.5	16.7	17.0	2.9
	男性	353	75.9	56.1	12.7	14.4	2.3
年齢別	30歳未満	72	80.6	50.0	6.9	9.7	1.4
	30歳代	133	82.0	51.1	13.5	13.5	3.0
	40歳代	162	78.4	55.6	14.2	20.4	3.1
	50歳代	123	76.4	62.6	13.0	18.7	3.3
	60歳代	170	67.1	62.4	19.4	16.5	1.8
	70歳以上	133	72.9	66.2	18.0	12.0	2.3
居住地域別	J R以南	66	65.2	57.6	40.9	4.5	3.0
	片山・岸部	119	79.0	63.9	20.2	12.6	0.0
	豊津・江坂・南吹田	132	84.1	49.2	15.2	18.9	3.0
	千里山・佐井寺	144	75.7	54.9	16.7	18.8	2.8
	山田・千里丘	208	71.2	51.0	8.2	15.9	2.9
	千里NT・万博・阪大	183	71.0	70.5	8.7	18.0	3.8
世帯年収別	250万円未満	132	69.7	65.9	12.1	18.9	2.3
	250～500万円未満	233	73.0	59.2	18.5	16.7	1.7
	500～750万円未満	151	76.8	60.9	11.3	18.5	3.3
	750～1,000万円未満	93	87.1	48.4	8.6	18.3	3.2
	1,000～1,500万円未満	64	79.7	57.8	20.3	9.4	6.3
	1,500万円以上	14	85.7	50.0	35.7	21.4	0.0
	わからない	74	73.0	59.5	13.5	4.1	1.4
居住形態別	持ち家（一戸建て）	208	77.9	58.7	46.6	7.7	2.4
	持ち家（マンション）	318	78.9	55.0	3.1	21.1	2.5
	民間賃貸（一戸建て）	12	75.0	25.0	8.3	16.7	8.3
	民間賃貸（マンション）	125	80.8	54.4	1.6	18.4	1.6
	公団・公社（賃貸）	51	62.7	74.5	3.9	15.7	3.9
	府営・市営（賃貸）	52	44.2	86.5	3.8	17.3	3.8
	社宅・寮	24	83.3	58.3	8.3	4.2	0.0
	その他	6	50.0	50.0	16.7	16.7	16.7
ヒヤリ経験別	ある	164	68.9	56.1	14.6	22.0	6.1
	ない	666	76.0	59.0	14.7	14.3	2.1

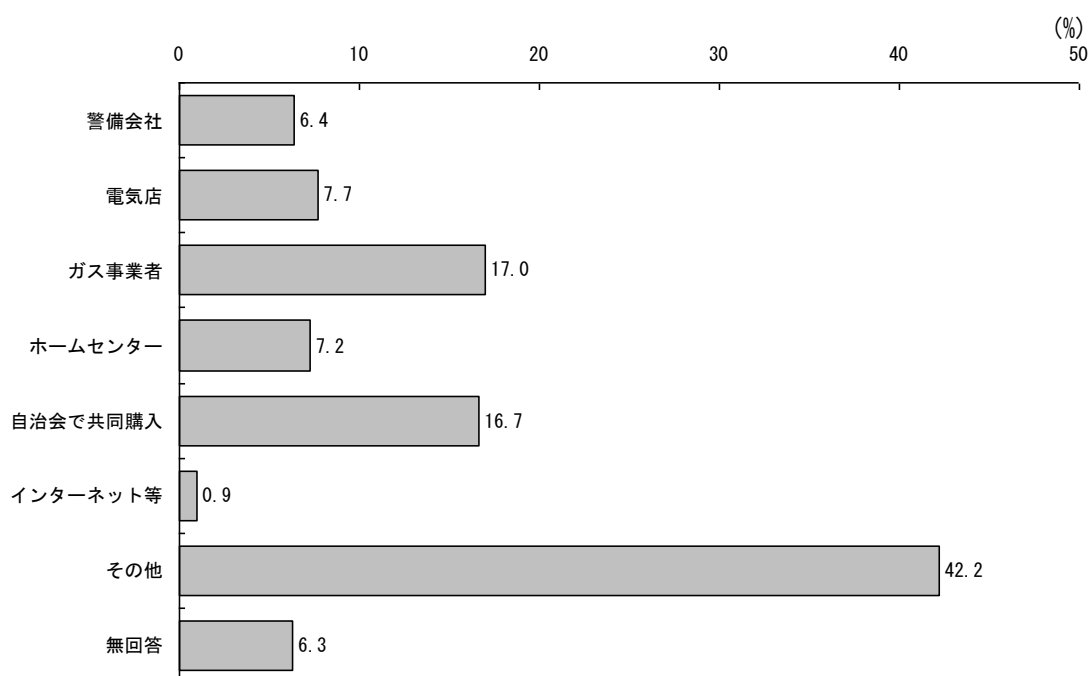
5. 住宅用火災警報器の購入先（問 51）（対象者のみ）

住宅用火災警報器の購入先についてみると、「その他」を除くと、「ガス事業者」の 17.0%、「自治会で共同購入」の 16.7%、続いて、「電気店」（7.7%）、「ホームセンター」（7.2%）、「警備会社」（6.4%）の順となっており、「インターネット等」は 0.9% である。

居住形態別にみると、「自治会で共同購入」は「府営・市営（賃貸）」が 32.7%で最も多く、「公団・公社（賃貸）」25.5%、「持ち家（マンション）」22.6%の順となっている。「持ち家（一戸建て）」（9.1%）、「民間賃貸（一戸建て）」（8.3%）、「民間賃貸（マンション）」（3.2%）と比較して「自治会で共同購入」の割合が高くなっている。

なお、「その他」には、「賃貸住宅なので最初から設置されていた」「生活協同組合」などが挙げられている。

図表 7-9 住宅用火災警報器の購入場所（複数回答／いくつでも）



図表 7-10 住宅用火災警報器の購入先（複数回答／いくつでも）

(%)

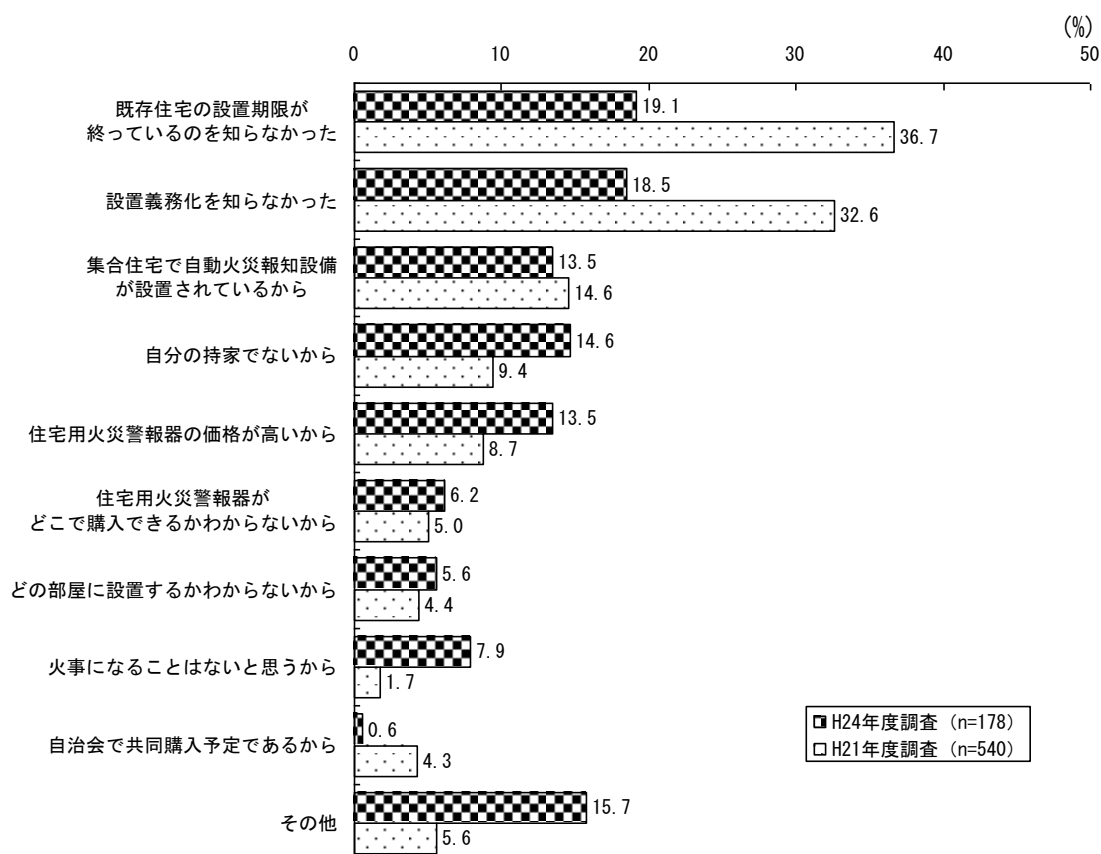
		件数	警備会社	電気店	ガス事業者	ホームセンター	自治会で共同購入	インターネット等	その他	無回答
全 体		858	6.4	7.7	17.0	7.2	16.7	0.9	42.2	6.3
性別	女性	448	5.8	7.1	19.0	5.4	17.9	0.9	43.1	6.0
	男性	353	7.1	7.9	14.4	9.3	15.3	0.8	43.3	5.1
年齢別	30歳未満	72	8.3	4.2	18.1	5.6	13.9	0.0	41.7	9.7
	30歳代	133	9.0	3.0	16.5	6.8	8.3	0.0	53.4	4.5
	40歳代	162	5.6	6.2	16.7	6.2	14.2	0.6	50.6	1.9
	50歳代	123	4.9	5.7	17.9	4.9	13.8	2.4	48.0	4.9
	60歳代	170	6.5	11.2	15.3	9.4	24.7	1.2	37.1	4.1
	70歳以上	133	5.3	12.0	18.8	8.3	22.6	0.8	28.6	11.3
居住地域別	J R以南	66	7.6	22.7	15.2	13.6	10.6	0.0	33.3	6.1
	片山・岸部	119	5.9	9.2	19.3	10.9	11.8	0.8	42.9	3.4
	豊津・江坂・南吹田	132	7.6	9.8	18.2	6.8	9.8	1.5	45.5	4.5
	千里山・佐井寺	144	5.6	3.5	14.6	6.9	16.0	2.1	47.9	6.3
	山田・千里丘地域	208	6.7	6.3	20.7	4.3	24.0	0.5	36.1	6.7
	千里NT・万博・阪大	183	5.5	4.9	13.1	6.0	19.7	0.5	45.9	8.2
世帯年収別	250万円未満	132	6.1	8.3	13.6	6.1	22.7	0.8	39.4	9.8
	250～500万円未満	233	6.0	9.9	20.2	8.6	16.3	0.9	39.1	4.3
	500～750万円未満	151	6.6	6.0	17.2	5.3	14.6	0.7	51.0	2.6
	750～1,000万円未満	93	3.2	3.2	16.1	1.1	15.1	1.1	61.3	3.2
	1,000～1,500万円未満	64	10.9	6.3	14.1	10.9	12.5	0.0	43.8	1.6
	1,500万円以上	14	14.3	28.6	0.0	7.1	7.1	7.1	28.6	7.1
	わからない	74	8.1	5.4	12.2	9.5	20.3	1.4	36.5	9.5
居住形態別	持ち家（一戸建て）	208	6.3	23.6	17.8	16.3	9.1	1.4	27.4	1.9
	持ち家（マンション）	318	8.2	2.2	17.9	4.1	22.6	1.3	44.7	4.4
	民間賃貸（一戸建て）	12	0.0	0.0	33.3	25.0	8.3	0.0	33.3	0.0
	民間賃貸（マンション）	125	8.8	0.8	18.4	4.0	3.2	0.0	60.0	8.8
	公団・公社（賃貸）	51	0.0	3.9	7.8	0.0	25.5	0.0	52.9	9.8
	府営・市営（賃貸）	52	0.0	1.9	13.5	0.0	32.7	0.0	44.2	15.4
	社宅・寮	24	4.2	0.0	4.2	0.0	16.7	0.0	66.7	8.3
	その他	6	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7
ヒヤリ経験別	ある	164	4.3	8.5	16.5	6.1	15.9	0.6	46.3	5.5
	ない	666	6.9	7.5	17.4	7.1	17.3	1.1	41.7	5.7

6. 住宅用火災警報器を設置していない理由（問 52）（対象者のみ）

住宅用火災警報器を設置していない回答者を対象に、設置していない理由についてみると、「既存住宅の設置期限が終っているのを知らなかった」が 19.1%であり、平成 21 年度調査（36.7%）から 17.6 ポイント減少している。また、「設置義務化を知らなかった」が 18.5%であり、平成 21 年度調査（32.6%）から 14.1 ポイント減少している。

なお、「その他」には、「購入したが、まだつけていない」などが挙げられている。

図表 7-11 住宅用火災警報器を設置していない理由（複数回答／いくつでも）



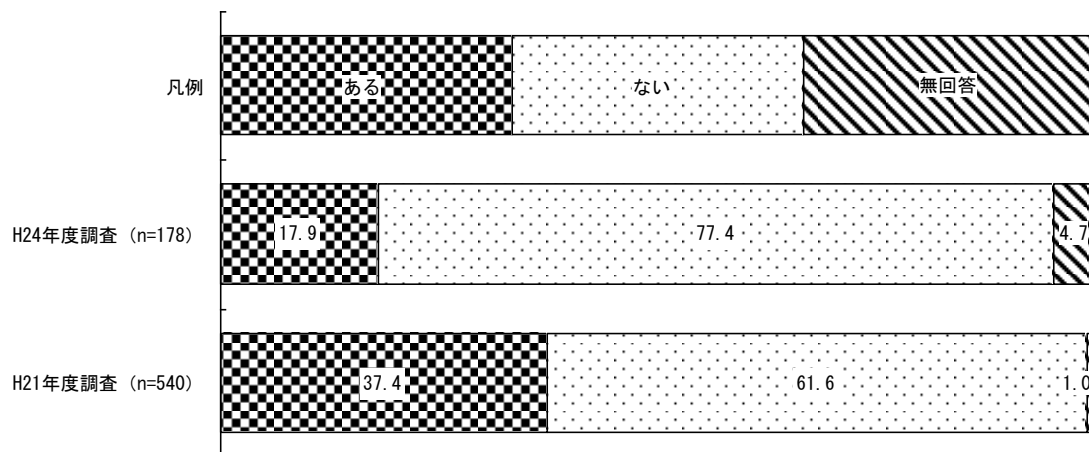
図表7-12 住宅用火災警報器を設置していない理由（複数回答/いくつでも）（%）

		件数	知らなかつた が終つて いるのを 知	既存住宅 の設置期 限	設置義務 化を知ら なかつた	集合住宅 で自動火 災報知設 備が設置 されてい るから	自分の持 家でない から	住宅用火 災警報器 の価格が 高いから	住宅用火 災警報器 がどこで 購入でき るか	住宅用火 災警報器 がどこで 購入でき るか	どの部屋 に設置す るか	火事にな ることな いと思っ たから	自治会等 で共同購 入する	その他	無回答
全 体		178	19.1	18.5	13.5	14.6	13.5	6.2	5.6	7.9	0.6	15.7	6.7		
性別	女性	89	19.1	18.0	13.5	13.5	13.5	9.0	9.0	5.6	0.0	18.0	6.7		
	男性	77	19.5	18.2	14.3	15.6	14.3	2.6	2.6	11.7	1.3	14.3	6.5		
年齢別	30歳未満	13	15.4	7.7	15.4	23.1	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	30.8	0.0		
	30歳代	26	11.5	15.4	11.5	26.9	11.5	3.8	7.7	7.7	0.0	23.1	0.0		
	40歳代	28	17.9	25.0	17.9	14.3	28.6	3.6	7.1	3.6	0.0	10.7	0.0		
	50歳代	31	29.0	6.5	9.7	12.9	22.6	9.7	6.5	9.7	0.0	9.7	9.7		
	60歳代	34	20.6	29.4	8.8	5.9	5.9	2.9	5.9	8.8	0.0	20.6	11.8		
	70歳以上	33	18.2	18.2	21.2	9.1	9.1	12.1	6.1	12.1	3.0	12.1	12.1		
居住 地域別	J R以南	29	44.8	13.8	0.0	6.9	20.7	10.3	6.9	6.9	0.0	17.2	6.9		
	片山・岸部	28	7.1	32.1	10.7	17.9	17.9	3.6	3.6	3.6	0.0	21.4	7.1		
	豊津・江坂・南吹田	33	18.2	15.2	15.2	27.3	6.1	9.1	12.1	9.1	0.0	12.1	3.0		
	千里山・佐井寺	32	12.5	31.3	12.5	12.5	21.9	0.0	0.0	3.1	0.0	15.6	3.1		
	山田・千里丘	35	20.0	8.6	22.9	14.3	11.4	5.7	2.9	5.7	2.9	11.4	11.4		
	千里NT・万博・阪大	14	14.3	7.1	21.4	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	7.1		
世帯 年収別	250万円未満	28	17.9	21.4	17.9	14.3	10.7	7.1	3.6	10.7	0.0	14.3	10.7		
	250-500万円未満	50	16.0	20.0	18.0	20.0	20.0	6.0	4.0	6.0	2.0	10.0	4.0		
	500-750万円未満	21	19.0	19.0	14.3	9.5	9.5	14.3	19.0	4.8	0.0	19.0	0.0		
	750-1,000万円未満	19	26.3	10.5	10.5	5.3	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	31.6	15.8		
	1,000-1,500万円未満	15	13.3	20.0	13.3	6.7	6.7	13.3	6.7	20.0	0.0	13.3	0.0		
	1,500万円以上	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
	わからない	19	15.8	21.1	5.3	21.1	15.8	0.0	0.0	15.8	0.0	21.1	5.3		
居住 形態別	持ち家(一戸建て)	89	22.5	22.5	0.0	1.1	18.0	9.0	9.0	11.2	0.0	20.2	9.0		
	持ち家(マンション)	34	20.6	17.6	47.1	0.0	11.8	2.9	0.0	8.8	2.9	5.9	5.9		
	民間賃貸(一戸建て)	6	16.7	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0		
	民間賃貸(マンション)	27	11.1	7.4	11.1	66.7	7.4	3.7	3.7	0.0	0.0	11.1	3.7		
	公団・公社(賃貸)	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	府営・市営(賃貸)	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0		
	社宅・寮	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0		
	その他	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0		
ヒヤリ 経験別	ある	27	11.1	18.5	11.1	22.2	11.1	7.4	7.4	7.4	0.0	29.6	7.4		
	ない	148	20.9	18.9	13.5	13.5	13.5	6.1	5.4	7.4	0.7	13.5	6.1		

7. 火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験の有無（問 53）

火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験の有無については、「ある」は 17.9%であり、平成 21 年度調査（37.4%）から 19.5 ポイント減少している。一方、「ない」は 77.4%であり、平成 21 年度調査（61.6%）から 15.8 ポイント増加している。

図表 7-13 火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験の有無（単純回答）（%）



図表7-14 火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験の有無（単純回答）（%）

		件数	ある	ない	無回答
全 体		1,092	17.9	77.4	4.7
性別	女性	566	19.6	75.3	5.1
	男性	446	16.8	80.5	2.7
年齢別	30歳未満	91	19.8	78.0	2.2
	30歳代	166	21.7	75.9	2.4
	40歳代	201	20.9	75.6	3.5
	50歳代	157	21.0	75.8	3.2
	60歳代	214	16.4	78.0	5.6
	70歳以上	172	11.6	82.6	5.8
居住地域別	J R以南	106	13.2	81.1	5.7
	片山・岸部	155	15.5	77.4	7.1
	豊津・江坂・南吹田	175	22.9	69.7	7.4
	千里山・佐井寺	186	18.3	78.0	3.8
	山田・千里丘	253	17.8	79.1	3.2
	千里N T・万博・阪大	203	18.7	78.8	2.5
世帯年収別	250万円未満	168	17.3	75.6	7.1
	250～500万円未満	293	18.1	78.5	3.4
	500～750万円未満	176	19.9	78.4	1.7
	750～1,000万円未満	116	19.0	75.9	5.2
	1,000～1,500万円未満	81	22.2	76.5	1.2
	1,500万円以上	20	25.0	75.0	0.0
	わからない	100	18.0	81.0	1.0
居住形態別	持ち家（一戸建て）	307	17.9	77.9	4.2
	持ち家（マンション）	363	17.9	78.0	4.1
	民間賃貸（一戸建て）	18	11.1	88.9	0.0
	民間賃貸（マンション）	167	22.8	71.9	5.4
	公団・公社（賃貸）	57	17.5	78.9	3.5
	府営・市営（賃貸）	55	21.8	76.4	1.8
	社宅・寮	29	6.9	89.7	3.4
	その他	8	12.5	87.5	0.0

8. 「ヒヤリ」とした経験の具体例

火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験が「ある」と選択した回答者を対象に、その具体例を尋ねたところ、「料理中（てんぷら）の引火」「風呂の空だし」「コンロの消し忘れ」「タバコの消し忘れ」など様々な事例が挙げられている。